

1 提案者 藤松 康之 (学校名) 安曇野市立穂高南小学校

2 提案内容

(1) 単元名 「防災」

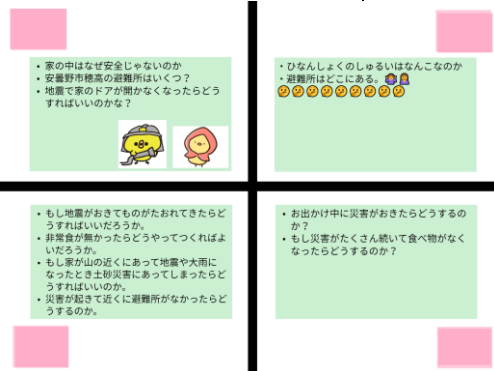
(2) 利用した番組名 「ツ克蘭カー」

(3) 授業のねらい

災害, 防災について調べ, ハザードマップの存在を知った子どもたちが, NHK for School「ツ克蘭カー」の動画を見ることを通して, 自分の地域のデジタル防災マップをつくるきっかけを得ることができる。

(4) 授業の実践記録

段階	学習活動	児童・生徒のようす	指導・助言	備考
	避難訓練の経験から, 自分の地域の災害についてのビデオを視聴し, 安曇野市ではたびたび大雨による川の氾濫(水害)で避難する必要がある人がいることを知る。	「避難訓練では地震の設定だったけど, 安曇野市は地震だけじゃなくて, 雨による水害もあるんだな」 「動画で見たのは知っている川だったけど, 大雨の時はこんな色で, こんな風に流れるなんて知らなかった」 「水が迫ってきたときどうやって避難するんだろう」 「避難所ってどこにあるのかな?」 「避難所の中はどうなっ	子どもたちが災害を身近に感じられるように ICT を活用し, 避難訓練の写真, 水害の際のニュースの動画を視聴し, 自分の地域の災害の様子についてわかるようにする。	
	「災害」や「防			

	災」について自分の中の問いを立てる。 紙のハザードマップに加えて、「ツクランカー」と出会うことで、より自分の生活に密着したハザードマップを作りたいという思いをもつ。	「自分たちが住んでるところの危険箇所はどこだろう？」 「このあたりには避難所はどこにあるのかな」 「自分の地域のハザードマップはあったけど、細かくて見づらいな。」 「もっとわかりやすいハザードマップを作りたいな」 「ツクランカー」を見たら、自分でデジタル防災マップを作ることができるらしい。 「作ってみたい。」「背景になる地図や危険箇所の写真が必要だな」 「ハザードマップ作りを始めよう」	自分の中の問いを友達と共有できるように共同編集をする。  子どもが調べ学習をしている中で子供が必要に応じて自分で動画を選択できるように、Googleclassroomに参考になる動画として、「ツクランカー」を含めたいくつかの動画のリンクを貼りつけておく。	
--	--	---	---	--

(5) 考察

- 紙のハザードマップではどこか他人事だったところを NHK for School「ツクランカー」を視聴することで、より自分の住んでいるところにひきつけて危険箇所や避難所について調べようとするきっかけを得ることができた。
- 防災についての様々な動画があるので、全員で一緒に視聴という形ではなく、Googleclassroom にリンクを貼ることで、必要感を持って自分で動画を見つけ視聴することができる。さらに、そのリンクを友だちに紹介したり、協力して作業を進めたりしようとする姿が見られた。